

**【教員氏名】**

三宅 亨

**【単位数】**

2 単位

**【演習概要】**

この講義では、明治維新以後の東アジア（日本・中国・台湾・朝鮮半島）の歴史をグローバルな視点から扱う。太平洋戦争が終わって70年を経た今日、戦争を知らない世代が大多数を占めるようになってきた。近隣諸国との関係が必ずしも良好とはいえない今こそ、もう一度過去を振り返って、現代の諸問題の根源を東アジアの近代史の中に求めることによって、近隣周辺国との関係改善と協力関係の構築のために何をすべきか、何ができるかを考えてみたい。

ただ、漫然と講義を「聴く」のではなく、「考える」という姿勢で臨んでもらいたい。

**【学習目標】**

グローバル化する社会の中で、明日に向かって進むうえで、日本だけでなく周辺諸国・地域の昨日（過去）を知ることが大切である。過去約150年間の東アジアの歴史を知り、理解し、未来を考えること、これがこの講義の最低限の目標である。

**【講義計画】**

第1回：1. 講義の概要

2. 受講にあたっての注意

3. 「異文化を理解する」・「歴史を知る」

毎回、資料を配布するが、欠席した場合に後で配布することはない。

第2回：明治初期の東アジア

第3回：日清戦争と台湾

第4回：日露戦争と韓国併合

第5回：20世紀初めの東アジア

第6回：満州事変

第7回：盧溝橋事件から日中戦争

第8回：アジア・太平洋戦争（1）

第9回：アジア・太平洋戦争（2）

第10回：戦後日本の改革と歩み

第11回：中華人民共和国の成立

第12回：朝鮮戦争

第13回：戦後東アジアの動向（1）

第14回：戦後東アジアの動向（2）

第15回：現代の諸課題

**【成績評価の方法】**

試験評価：70% 出席：30%

毎回講義の終わりに課題を与え、その場で答を提出してもらう。ただ出席するだけでは、評価はつかないので注意すること。

正当な理由なくして4回以上欠席した場合、学期末試験を受けることはできない。

**【参考文献】**

授業中に、その都度指示する。

**【準備学習の指示】**

あらかじめ配布した資料を熟読しておく。